

市民と議会を結ぶ架け橋

議会だより

上野原市




No.45
平成28年
4月発行

議長就任・退任あいさつ	2	委員会活動	8～9
第1回臨時会	2	一般質問	10～15
議決結果等一覧表	3	議長交際費	15
第1回定例会	4～5	定例会会期日程	15
平成28年度予算	6～7	市民の声・議会活動	16

大目地区新田「ポケットパーク」の花もも



第10代議長 鷹取 偉一



副議長 長田 喜巳夫

議長就任あいさつ

市民の皆様には、日頃より議会活動にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度、平成二十八年第一回定例会において、上野原市議会第十代議長として推挙いただき、身に余る光栄であり、責任の重さを痛感しております。

最近の我が国の経済動向は、様々な施策を講じながらも、不安定で不透明な状況が続いています。また、人口減少は歯止めがきかず、将来自治体の存続さえも危ぶまれる事態となっております。

市制十二年目を迎えます。当市では、今後も生産年齢人口・若年層の流出が見込まれ、大幅な人口減少問題が懸念されてい

ます。このため、移住・定住の促進など、市民の皆様とともに英知を絞りとどめる施策が早急に必要だと考えています。

駅周辺整備やスマートインフラエンジニア、総合福祉センター建設、防災無線デジタル化等の重要な事業が山積している本年度であります。各議員のご協力をいただく中で、二元代表制の一翼を担い、円滑な市政推進に努め、民主的、公正・公平な議会運営に全力で努めてまいりたいと思っております。

市民の皆様には、議会活動に一層のご支援、ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



前議長
杉本 友栄

前議長退任あいさつ

日頃より市議会活動に暖かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。

この度、三月三日に行われまして上野原市議会第一回定例会において、議長を退任しましたことをご報告させていただきます。

昨年二月に就任して、この一年の在任中は、多くの市民の皆様をはじめ市当局並びに議員各位か



前副議長
山口 好昭

ら格別のご支援・ご協力を賜り、市制施行十周年の節目となる年の重責を果たすことができ、誠にありがとうございました。心より厚く御礼申し上げます。

今後は、より一層開かれた議会を目指すとともに、市政伸展のため、全力を尽くして参りたいと思いますので、これまで以上に、ご指導とご鞭撻を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。退任のあいさつといたします。

第1回 臨時会

平成二十八年二月五日、上野原市議会第一回臨時会を開催しました。

▼上野原駅南口昇降施設棟外建設工事（継続費）請負契約締結

契約先（株）早野組（甲府市東光寺）金額 六億二千六百四十万円

▼市道八ツ沢大柵線交差点改良工事請負変更契約締結

利便性・安全性の向上等の環境整備に伴う変更に加え、工事の現地精査による見直しの結果、契約金額を四百八十八万七千円減額し、一億六千八百九十九万三千円で工事請負変更仮契約を締結するもの。

平成28年第1回臨時会議決結果等一覧表

(◎賛成討論者 ●反対討論者)
○賛成 ●反対

種別	議案番号	案件名	付託委員会	遠藤美智子	川田好博	久嶋成美	東山洋昭	村上信行	小俣修	川島秀夫	杉本公文	田中英明	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	鷹取偉一	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果	
契約	1	上野原駅南口昇降施設棟外建設工事(継続費)請負契約締結	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	原案可決
	2	市道八ツ沢大柵線交差点改良工事請負変更契約締結	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	原案可決

平成28年第1回定例会議決結果等一覧表

(◎賛成討論者 ●反対討論者)
○賛成 ●反対

◆賛否のあった議案

議案番号	案件名	付託委員会	遠藤美智子	川田好博	久嶋成美	東山洋昭	村上信行	小俣修	川島秀夫	杉本公文	田中英明	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	鷹取偉一	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果	
27	平成28年度上野原市一般会計予算	予算特別	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	原案可決
28	平成28年度上野原市国民健康保険特別会計予算	予算特別	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	
29	平成28年度上野原市後期高齢者医療特別会計予算	予算特別	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	
30	平成28年度上野原市介護保険特別会計予算	予算特別	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	

◆全会一致の議案

番号	付託	案件名	結果	番号	付託	案件名	結果	
3	—	上野原市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例制定	原案可決	33	—	平成28年度上野原市簡易水道事業特別会計予算	原案可決	
4	総務産業	上野原市旅費等の特例に関する条例制定		34	—	平成28年度上野原市教育奨励資金特別会計予算		
5	—	上野原市法務専門職員の任用等に関する条例制定		35	—	平成28年度上野原市大目財産区特別会計予算		
6	文教厚生	上野原市手話言語条例制定		36	—	平成28年度上野原市甲東財産区特別会計予算		
7	—	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定		37	—	平成28年度上野原市巖財産区特別会計予算		
8	—	上野原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定		38	—	平成28年度上野原市島田財産区特別会計予算		
9	総務産業	上野原市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例制定		39	予算特別	平成28年度上野原市上野原財産区特別会計予算		
10	—	上野原市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定		40	—	平成28年度上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計予算		
11	—	公益的法人等への上野原市職員の派遣等に関する条例等の一部を改正する条例制定		41	—	平成28年度上野原市小金沢土室山恩賜県有財産保護組合西原分収益事業特別会計予算		
12	—	上野原市税条例及び上野原市風致地区条例の一部を改正する条例制定		42	—	平成28年度上野原市秋山財産区特別会計予算		
13	総務産業	上野原市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定		43	—	平成28年度上野原市西柵ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計予算		
14	—	上野原市税条例の一部を改正する条例制定		44	—	平成28年度上野原市病院事業会計予算		
15	文教厚生	上野原市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び上野原市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定		45	—	上野原市和見辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定		
16	—	上野原市重度心身障害者医療費助成条例等の一部を改正する条例制定		46	—	上野原市小伏辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定		
17	総務産業	上野原市火災予防条例の一部を改正する条例制定		47	—	上野原市西原辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定		
18	—	平成27年度上野原市一般会計補正予算(第4号)		48	—	上野原市猪丸辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定		
19	—	平成27年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)		49	—	上野原市寺下辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定		
20	—	平成27年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		50	—	上野原市藤尾辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更		
21	—	平成27年度上野原市介護保険特別会計補正予算(第3号)		51	総務産業	上野原市道路線の認定		
22	—	平成27年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)		52	—	山梨県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び山梨県市町村総合事務組合規約の変更に関する協議		
23	—	平成27年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)		53	—	山梨県東部広域連合規約の変更		
24	—	平成27年度上野原市大目財産区特別会計補正予算(第1号)		54	—	上野原市教育委員会教育長の任命の同意		同意
25	—	平成27年度上野原市秋山財産区特別会計補正予算(第2号)		55	—	人権擁護委員候補者の推薦		適任
26	—	平成27年度上野原市病院事業会計補正予算(第2号)		56	—	人権擁護委員候補者の推薦		
31	予算特別	平成28年度上野原市介護サービス事業特別会計予算		57	—	人権擁護委員候補者の推薦		同意
32	—	平成28年度上野原市公共下水道事業特別会計予算		58	—	上野原市財産区管理会委員の選任の同意		
				59	—	上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区管理会委員の選任の同意		同意
				発議1	—	上野原市議会議員の旅費の特例に関する条例制定		原案可決

例制定を可決

第1回 定例会

平成二十八年第一回定例会は、三月三日から二十四日までの二十二日間の会期で開催されました。市長から提出された二十八年度一般会計・特別会計・病院事業会計予算をはじめ、条例の制定・改正や二十七年補正予算など五十七件及び議員提出議案一件を審議しました。市長提出議案のうち、上野原市一般会計予算を含む四議案については異議があり、その賛否について審議した結果、賛成多数で原案のとおり可決。その他の議案については、全会一致で原案のとおり可決されました。

人事

▼上野原市教育委員会 教育長の任命の同意

二十八年三月三十日をもって和端正樹委員（教育長）の任期が満了するため、新たに同氏を教育委員会教育長に任命するもの。

同意

大月市鳥沢

和田 正樹 氏

▼人権擁護委員候補者 の推薦

二十八年六月三十日をもって加藤昭夫委員及び佐藤稔委員、原田廣明委

員の任期が満了するため、後任として引き続き同名を人権擁護委員候補者として任命するもの。

適任

上野原地区

加藤 昭夫 氏

新田地区

佐藤 稔 氏

秋山地区

原田 廣明 氏

▼上野原市財産区管理 会委員の選任の同意

同意（以下、順不同）

大目財産区

中村主税氏 水越詔一氏
安藤重正氏 米山英廣氏

網野大文氏 岡部重親氏
上條 明氏

甲東財産区

和智 茂氏 安藤 皓氏
富田正夫氏 白倉忠雄氏
尾形廣行氏 和智忠夫氏
溝呂木森雄氏

巖財産区

久島一雄氏 上條 聰氏
岡本房雄氏 木口喜郎氏
大神田勲氏 尾形 尚氏
川口盛雄氏

島田財産区

佐藤 肇氏 宮田憲次氏
網野清治氏 上條嘉道氏
小俣元男氏 長谷川隆氏
平本 貢氏

上野原財産区

佐藤通則氏 能城和雄氏
東山圭一氏 古菅金吾氏

井上正路氏 中島初男氏
奈良正洋氏

▼上野原市檜尾根外十 二恩賜林保護財産区管 理会委員の選任の同意

同意（以下、順不同）

中村哲雄氏 久島 憲氏
大庭正廣氏 阿部喜一氏
織田寿文氏 小俣英雄氏
小俣巳都留氏

条例改正

▼上野原市長、副市長 及び教育長の給与の特 例に関する条例制定

市長、副市長、教育長の六月期末手当を百分の

一六〇、十二月期末手当を百分の一八〇に減額して支給するもの。



▼上野原市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定
法務専門職員を任用することに伴い、報酬の額を追加するもの。

上野原市手話言語条例

平成二十七年
度
補正予算

主な歳出

総務費 駅周辺整備事業特別土地保留地買取り一億五千万円。地方創生加速化交付金事業三千六百万円。生活バス路線維持費補助金二千八百九

十九万六千円。

民生費

所得者の高齢者向け年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費八千四百二十六万二千円。保育料管理システム改修委託二百七十六万五千円。



農林水産業費 ふるさと長寿館維持費(ポスレジ機器一式購入費)二百十万六千円。
県営中山間地域総合整備事業負担金(二十七年事業費確定のための減額)△六百万円。
商工費 地域住民生活等緊急支援事業(地方先行型) 観光振興事業(新田地区環境整備皆伐等作業委託料)三百三十万円。
土木費 急傾斜地崩落対策事業二百三十一万七千円。除雪作業委託料二千五百五十万円。
教育費 私立幼稚園就園奨励費(第三子以降補助金増額のため)八十六万二千円。

議会運営委員会委員・常任委員会委員の構成

委員会名	委員長	副委員長	委員		
議会運営委員会	岡部 幸喜	尾形 重寅	田中 英明	山口 好昭	
			杉本 友栄	尾形 幸召	
常任委員会	総務産業常任委員会	小俣 修	尾形 重寅	久嶋 成美	
			尾形 重寅	山口 好昭	
			尾形 重寅	長田 喜巳夫	
	文教厚生常任委員会	東山 洋昭	岡部 幸喜	尾形 幸召	村上 信行
				尾形 幸召	川田 好博
				尾形 幸召	杉本 公文
	議会だより編集常任委員会	久嶋 成美	遠藤 美智子	川田 好博	川田 好博
				遠藤 美智子	鷹取 偉一
				遠藤 美智子	東山 洋昭
			川島 秀夫	長田 喜巳夫	

発議

▼上野原市議会議員の旅費の特例に関する条例制定

二十八年四月一日から二十九年三月三十一日

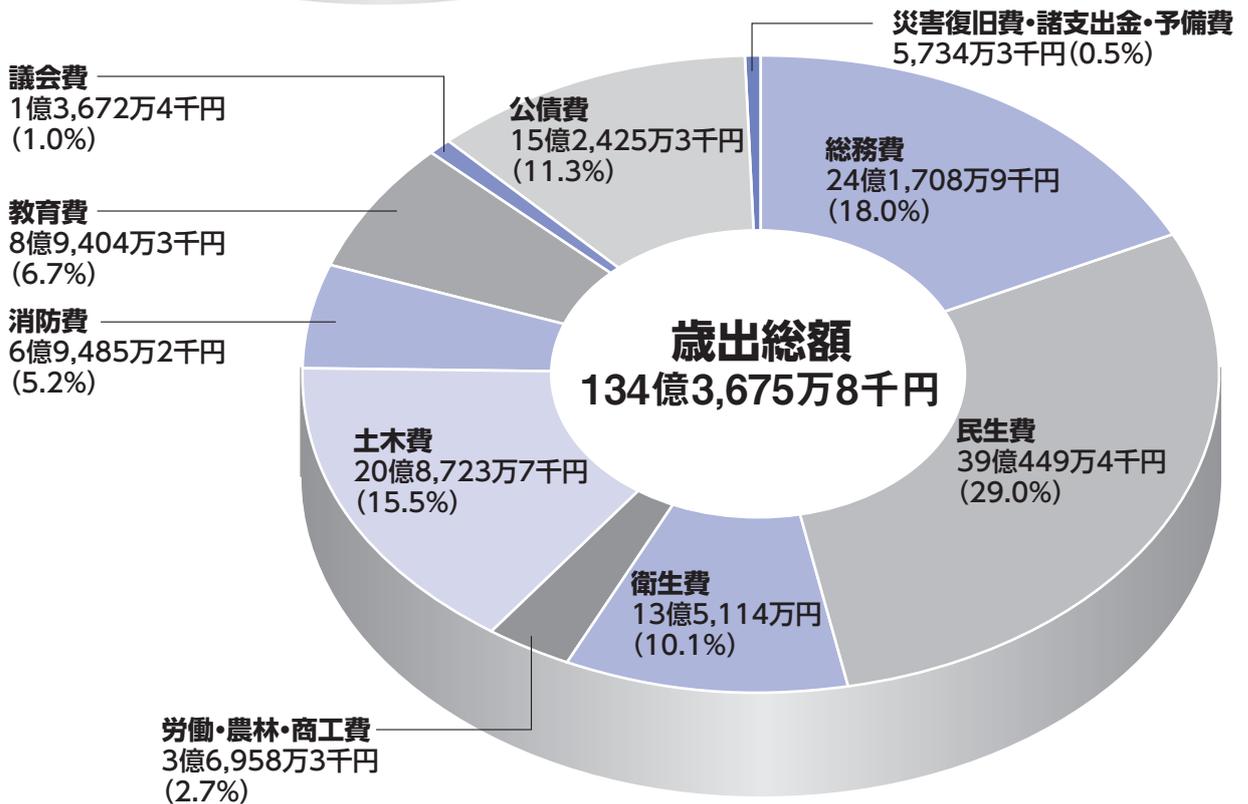
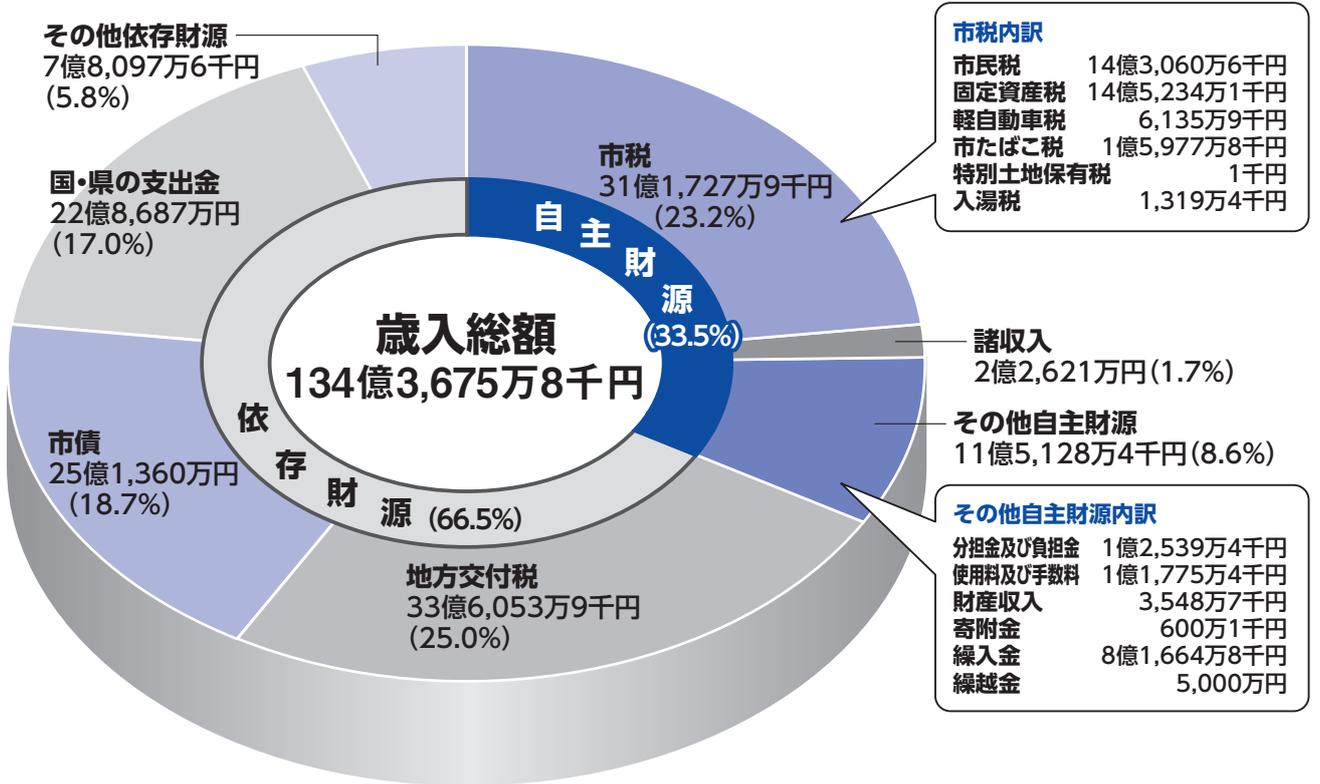
に、議長、副議長、議員が公務のために旅行した場合の旅費(日当)は支給しないと定めるもの。

提出者 岡部幸喜議員
賛成者 小俣 修議員

東山洋昭議員

4,456万4千円増

75万8千円を可決



(予算の概要より)

平成28年度 一般会計当初予算 対前年比 18億 134億3,6

予算特別委員会の審議状況

3月16日から18日の3日間にわたり予算特別委員会が行われ、本定例会において付託された平成28年度上野原市一般会計予算・各特別会計予算及び病院事業会計予算について審査しました。

上野原市一般会計予算、上野原市国民健康保険特別会計予算、上野原市後期高齢者医療特別会計予算、上野原市介護保険特別会計予算については、異議がありましたので、起立採決を行いました。

その結果、賛成多数で、原案どおり可決すべきものと決定しました。

主な事業・業務等の概要

	事業・業務	内容等	予算額
新規事業	市長選挙費	市長選挙に係る経費	2,183万7千円
	参議院選挙費	参議院選挙に係る経費	1,686万6千円
	秋山支所施設管理費	秋山支所耐震補強事業	1,691万2千円
	移住促進・対策事業	移住・定住の推進に係る経費	1,961万6千円
	電算管理費	強靱化対策経費 (職員情報系サーバ・パソコン・プリンタ)	3,993万6千円
	生活困窮者自立支援事業	子どもの学習支援事業委託料	190万円
	妊婦・乳幼児健康診査事業費	不妊症・不育症治療助成事業	200万円
	農業用施設維持費	農道東海戸線水路改修工事	500万円
	農村災害対策整備事業(県営)	上野原用水路トンネル(山風呂地区)の整備経費	1,600万円
	社会資本整備総合交付金事業(道路維持費)	奥平道上鈴ヶ沢線歩道整備事業等に要する経費	2,000万円
	社会資本整備総合交付金事業(道路改良事業)	桑久保和見線道路改良事業	4,800万円
	住宅管理費	諏訪団地他戸建住宅解体工事	920万円
	議会費	議場音響映像システム改修	328万3千円
	スクールバス等購入事業	秋山小・中学校の生徒送迎用スクールバス購入費	776万6千円
	救助工作車購入費	救助工作車購入費	1億2,021万8千円
既存事業	総務防災諸費	防災行政無線デジタル化整備事業	11億881万5千円
	青少年対策費	防犯灯の維持管理に係る経費	1,788万3千円
	塵芥処理費	ごみ焼却施設運営及び維持管理業務等	3億3,206万2千円
	自立支援給付費	障害福祉サービス扶助費 障害者補装具交付・相談支援等	3億6,238万9千円
	(仮称)総合福祉センター事業費	センター整備費(工事費・委託料等)	8億7,128万3千円
	林道腰掛線事業費	林道腰掛線局部改良事業費	1,039万1千円
	橋りょう改良事業費	白山橋架設事業等	6,500万円
	中央自動車道スマートIC関連事業費	道路改良工事、負担金等	2億6,717万2千円
	住宅対策費	木造住宅耐震診断、住宅リフォーム補助金等	5,548万5千円
	上野原駅周辺整備事業費	昇降施設棟他整備工事等	6億9,613万5千円

総務産業 常任委員会

閉会中の活動

地方創生の先進地

静岡県浜松市を視察

二月八日、二十七年第四回定例会で議決された閉会中の継続調査として、地方創生について先進的に取り組まれている、静岡県浜松市の視察を行いました。



浜松市役所

浜松市は、十七年七月一日に天竜川、浜名湖地域十二市町村が合併し、人口八十万人を超え、十九年四月には政令指定都市に移行しました。

浜松市の総合戦略は、昨年の十一月に完成し、今年度の四月からスタートした新たな三十年間の総合計画をベースで考えているということで、「若者、子育て世代の生活基盤の安定・希望出生数をかなえる環境整備・だれもが引き寄せられる都市の魅力を生み出す」の三つの方針を決め、合計特殊出生率を2025年までに一・八四、2035年までに二・〇七になるように取り組むとのことでした。

また、人口減少を食い止めるために、産業力の強化をベースに、基本目標の三分の一以上は産業に特化していると、都市部と中山間地域が共存共栄していくことを課題に、地域の特性を活か

した魅力づくりで中山間地域のにぎわい創出の取り組みに力を入れているとのことでした。

中山間地域の振興については、合併し使わなくなった教職員住宅を地域の田舎暮らし推進団体に無償で貸し付け活用する田舎暮らしお試し住宅事業を実施していました。

委員から、合併をきっかけに人口減少が進む地域もあるのではないかと、質問がありました。が、交流によって中山間地域の方と行き来をして市全体として中山間地域の問題を捉え、中山間の人たちも自分の地域の魅力を再認識し、都市部の人を呼び込むように努力することによって地域の活性化させていきたいとのことでした。

当局に対し、今回の視察調査の結果を十分参考にし、地方創生の取り組みを推進するよう要望しました。

会期中の審査

三月七日、委員会を開催し、付託された案件の審査を行いました。

付託された案件は、条例制定四件、条例の一部を改正する条例制定七件、市道路線の認定一件、合計十二件でした。

主な議案

▼上野原市法務専門職員の任用等に関する条例制定

法務専門職員を任用することに伴い、報酬等の支給や勤務時間などに関する必要な事項を、条例制定するもの。

▼上野原市税条例の一部を改正する条例制定

固定資産税納税者の納税環境の改善を図るため、固定資産税の第一期の納期を、五月十七日から五月一日に改めるなど、条

例の一部を改正するもの。

▼上野原市火災予防条例の一部を改正する条例制定

対象火気省令の改正に伴い、当該設備及び器具に係る離隔距離（可燃物等との間に設けるべき火災予防上安全な距離）に関する規定を整備するため、条例の一部を改正するもの。

▼上野原市道路線の認定

上野原市大字八ツ沢字上坊沢二四七三番七から大字八ツ沢字中山一五一二番までを、テクノパーク仲山線として認定するもので、これについては併せて現地調査を行いました。

付託された十二議案については、採決の結果、全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。



現地調査の様子

文教厚生 常任委員会

閉会中の活動 地域密着型

介護サービスの

状況を調査

一月二十一日、二十七年第四回定例会で議決された閉会中の継続調査として、地域密着型介護サービスの状況についての調査を行いました。



にんじんホーム上野原

にんじんホーム上野原

国分寺市の本部を中心に、法人全体では多摩地区と上野原市に七拠点あり、姉妹法人「ケアセンターやわらぎ」とも連携を取りながら、事業を行っています。

スタッフは、職員四十七人、ヘルパー十五人、ボランティア約二十人おり、二か月に一回開催する運営推進会議には民生委員、区長が参加し、地域と連携を取りながら事業を進め、家族の悩みを聞く場として家族会を設けていました。

グループホームは人員配置も厚く職員とゆつくりとした時間が過ごせるものの、本来の役割である個別に関わっていくことで、かなり重度の方もあり、その方とどう関わっていくかが一番大きな課題とのことでした。

デイサービスあお葉

小規模事業所というこ



デイサービスあお葉

とで、民家を改築した定員十名のデイサービス事業所でした。職員二名、パート五名、送迎三名の十一名で運営しており、施設内は家庭的な雰囲気でも利用者も楽しく過ごされています。

市内には、いくつかの施設がありますが、それぞれが特色を持った運営を行っていると思われまます。その運営や職員の労働状況が厳しいという中で、介護報酬については、検討の余地があるのではないかと声や、介護現場への理解をより深め、改善点を探る必要性があるとの意見がありました。

会期中の審査

三月九日、委員会を開催し、付託された案件の審査を行いました。

付託された案件は、条例制定一件、条例の一部を改正する条例制定二件でした。

主な議案

▼上野原市手話言語条例制定

手話が言語であるとの認識に基づき、手話の理解並びに普及及び地域において手話を利用しやすい環境の構築に関し、必要な事項を定めるもの。

▼上野原市重度心身障害者医療費助成条例等の一部を改正する条例制定

重度心身障害児の医療費助成方法の変更に伴い、重度心身障害者医療費助成条例、ひとり親家庭医療費助成に関する条例及

び子ども医療費助成に関する条例の一部をそれぞれ改正するもの。県の方式にならない医療費助成方式を重度医療費が最上位となるようにするもので、重度医療費の十五歳以下の障害児について窓口無料化を継承するもの。

質疑の後、所管事項として現在建設が進められている(仮称)新上野原保育所の建設現場に向き、主管課及び施工者から施設の概要説明を受け、進捗状況の調査を行いました。

手話言語条例について

委員から、条例で掲げている施策の推進方針については、当事者の意見を聞いて策定し取り組んでほしいとの意見が出された。

付託された三議案については、採決の結果、全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。



審査の様子

市政を問う

10人の議員が一般質問を行いました。

※一般質問の順番は抽選により決定しています。

◆尾形幸召 議員(10p)

- 1 地方交付税について
- 2 民間宿泊について

◆川島秀夫 議員(11p)

- 1 18歳選挙権拡大について
- 2 職員人事問題について
- 3 (仮称)新上野原保育所・総合福祉センターへのアクセス道路について
- 4 マイナンバー制度について
- 5 四方津駅バリアフリー化計画について

◆山口好昭 議員(11p)

- 1 人々が集う魅力あるまちづくりについて
- 2 まち・ひと・しごと創生総合戦略推進について

◆村上信行 議員(12p)

- 1 平成28年度予算について
- 2 市の医療のあり方について
- 3 市の教育行政について
- 4 実践型地域雇用創造事業について

◆杉本公文 議員(12p)

- 1 普通財産売却事務取扱要綱について
- 2 光ケーブル事業について
- 3 防災減災対策について

◆川田好博 議員(13p)

- 1 「地域総合戦略」について
- 2 子どもの貧困対策について
- 3 障害者支援について

◆東山洋昭 議員(13p)

- 1 保育職員について
- 2 28年度当初予算における地域LED防犯灯補助制度及び市管理の街路灯補助事業について
- 3 1月18日降雪時等の災害時・緊急時各課間の情報収集、市民への情報伝達について
- 4 ジェネリック医薬品の市民への普及啓発について

◆小俣 修 議員(14p)

- 1 新田字狐原畑地への雨水流入対策について
- 2 桂川橋上流域への周遊道路整備構想について
- 3 神奈川県企業庁との土地交換構想について
- 4 上野原駅南口周辺整備事業について
- 5 人口減少問題について

◆久嶋成美 議員(14p)

- 1 選挙について
- 2 新上野原保育所について

◆遠藤美智子 議員(15p)

- 1 女性の視点を生かした防災対策の実施を
- 2 子どもの貧困対策について

地方交付税について
質問 過去五年間の年度別歳入の状況は。
答弁 企画課長 二十三年度二十三億八千四百三十三万、二十四年度三十三億四千五百五十万、二十五年度三十三億五千八百九十五万、二十六年二十三億六千六百八十五万、二十七年三十四億千五百八十万円です。
質問 将来十年先の年度別見込み歳入は。
答弁 企画課長 今後五年間は二十七年度の国勢調査人口の算定と合併算定替えの段階的縮減も含め、二十八年度と同様の状況が続くものと考えます。その後は次の国勢調査の状況や時勢も異なるので一概には見込めません。
質問 人口百人が減少した場合の交付税額は。
答弁 企画課長 人口減少による地方交付税の減少の見込み額は、二十八年度の実績額を参考に算定しま

すと一人当たりの影響額は九万円程の算出です。
質問 交付税減少見込みにあつての上野原市の将来展望は。
答弁 企画課長 上野原駅周辺整備事業、中央自動車道スマートインター関連事業、(仮称)総合福祉センター事業、移住促進対策事業、地域雇用創造事業など、地方創生を推進し、人口減少に歯止めをかけようと各施策を展開、地域振興策を着実に図ります。
質問 上野原市として制度の策定は考えられるか。
答弁 経済課長 営利目的である民泊は、民泊で使われる民家とは違い旅館業法の規制を受けますが、宿泊料を受け取る営業が常態化しておらず旅館業法の規制を受けません。民泊と民泊は営業行為であるかどうか線引きです。制度の策定は法整備が整った段階で策定



を検討します。
要望 地方交付税主要算出基準値の見直しを国に要望すべきです。人口減少化に歯止めがからない地方こそ、国勢調査人口で交付税の体制金額が決定される現在の交付税配分の有り方、かつ、五年毎に人口減少により減額される交付税では安定した地方自治の行政が推進されません。
 また、多くの人々の定住移住には地域での新産業の発掘や企業誘致を積極的に促進しなければなりません。



尾形幸召 議員



川島秀夫
議員

その他質問

- ◆(仮称)新上野原保育所・総合福祉センターへのアクセス道路について
- ◆マイナンバー制度について



山口好昭
議員

その他質問

- ◆まち・ひと・しごと創生総合戦略推進について

十八歳選挙権について

権者意識について。

答弁総務部長 三月現在、有権者二万九百四十八人、十八歳が約二百五十人、十九歳が約二百七十人です。この夏の参議院選挙には、約五百人が有権者として加わる予定です。選挙管理上、投票率を上げる有権者意識の高揚を図らねばならないと考えています。二月に上野原高校で出前講座を実施、将来的には、中学校にも同様な啓発活動も必要と考えています。

職員人事問題について

要望や質問を行い、理解を深めています。

テニションとスペシャリスト育成について。

答弁総務部長 定期的な研修によるものと、職務や執務経験(OJT)により、人材育成を進めています。ジヨブ・ローテーションにより幅広く職務を習熟し、スペシャリストを養成の後、管理職登用を行っていきます。人口減少化時代、行政サービス・ニーズは増加する一方ですが、サービスの低下は許されません。対応できる人材育成に努めていきます。

財源についての質問がありました。

具体的協議の中で財源も含め県とも相談しながら、整備方針を検討していきます。

人々が集う魅力あるまちづくりについて

質問 当市におけるリノベーション事業の概要は。

答弁企画課長 この事業は国交省が所管する社会資本交付金事業で都市再生整備に位置づけられた拡充事業等で人口減少、超高齢者社会、地場産業の停滞等による地域の活力低下、空洞化都市機能の維持に対応するための都市の再構築するもので地域に必要な医療、福祉、子育て支援、教育文化、商業等の維持を支援し中心市街地の形成を進めることによる地域活性化を目的とします。当市の拠点区域を国道二十号から北側の本町地区八・七三ヘクタールに設定し施設としては新上野原保育所と仮称総合福祉センターを国交省から事業採択されました。

答弁福祉保健部長

保育所適正化審議会の答申を受け統合する各保育所の園児を受け入れられる二百名規模とし、現在建設を行っており認定子ども園として運営を行い併設して子育て支援センターを開設します。保育内容は通常保育はもとより延長保育、一時保育、病後児保育を行うと共にニーズを把握しながら病児保育、夜間保育も視野に対応したいと考えています。

質問 保護者の新保育所に対する想い期待感。
答弁福祉保健部長 新保育所は各保育所の保育士が日頃の業務を参考に子供達に良好な保育及び保育環境を提供出来るように協議し建設に至り保育所保護者連合会からも保育基盤の整備、保育環境の充実を期待されます。

答弁福祉保健部長

健康老人福祉センター機能だけでなく健康、福祉、介護、子育て等を総合的に支援出来る体制としこれら機能をワンストップで市民にサービスで子供から高齢者や障害のある人たちが集い憩える機能を備えた保健施設の拠点となる施設整備とします。

質問 仮称総合福祉センターの建設概要は。
答弁福祉保健部長 健康老人福祉センター機能だけでなく健康、福祉、介護、子育て等を総合的に支援出来る体制としこれら機能をワンストップで市民にサービスで子供から高齢者や障害のある人たちが集い憩える機能を備えた保健施設の拠点となる施設整備とします。



質問 新上野原保育所の規模、保育体制、内容は。

答弁福祉保健部長 新保育所に伴う送迎は保護者の送迎になります。





村上信行

議員

その他質問

- ◆市の教育行政について
- ◆実践型地域雇用創造事業について

二十八年度予算について 市の将来の展望や財政との関連をどのように考えているか。

答弁 企画課長 前年度比一五・九％増の百三十四億三千六百万円と過去最大となっております。市債は九億三千五百万円増加し、繰入金も七億三千六百万円増加しています。また、合併特例債や緊急防災減災事業債は有利な財源であるが、借入額が大きいため市の負担は少なくないことも事実です。

質問 基金を取り崩した中の安藤智恵子氏の遺産一億数百万円については当初の経緯と非常に違っているが。

答弁 市長 二十五年に一億二百九十六万六千円を福祉的なものに使って欲しいと受け取りましたので総合福祉センター建設に予算化したものです。

意見 当初一般財源とせず、八重山と同様、安藤さんの顕彰に繋がり、子

供達の教育に繋がる計画にするとのことであった。使い方については関係者に相談することであったがそれもなかった。また、感謝の気持ちで先に行動に表して欲しかった。

市の財政は大変厳しい状況にある。今後の歳入の裏付けに確実に担保されたものもなく、さらに歳出の事務事業見直しが曖昧な中、債務の増加や基金を説明なしに取り崩すなどは次世代に付け回すことになり、市民は納得しない。情報公開をする中、抜本的な道筋を示すことが行政責任である。市民と共に地方創生ビジョンに向かって協働していくための価値観転換の時だと考えます。

市の医療のあり方について 現状をどのように捉えているか。

答弁 長寿健康課長 一次、二次、三次医療と区分さ

れる中、県の計画に基づき日曜日は開業医による当番制、休日夜間は富士東部医療圏において市立病院が輪番制度で救急業務を行っています。また開業医と市立病院の協力体制を強化しています。

光ケーブル事業について 市長は一昨年の十二月に、UBCに大型資本の参入を条件として、年間三千万円を支払う約束をしました。これについては、UBCと市のIRU契約で「市は告知端末の費用は負担しない。行政放送は無料」とする現行の基本契約があり、支出されれば現行の契約を無視した不当な支出負担行為であり、市民への背信行為であると思

質問 UBCは昨年十二月に、市内の上野原地区及びコモア地区に限り、NTTの光を利用したネットサービスを開始する、と発表しているが、

他の地域ではUBCに限定されNTTの光を選択できない状況が生じた。情報格差を解消する為にも市長はNTTに、市内全域に光ケーブルを引くよう要請すべきでは。

答弁 市長 NTTの管轄が変わり要望に行けば上野原にもNTTは全部引いてくれるのではないかと思っております。四月早々NTTの方に市内全域に光ケーブルを引いていただくよう、要望に行く予定であります。



質問 防炎放送についてはアナログからデジタル無線化に整備を計画していますが告知端末だけではなく、市長の公約でもあったラジオタイプのデジタル個別受信機を整備すべきでは。

質問 防炎無線のデジタル化には約十一億円かかりますが、国からの補助が七割あります。電気が流れた時は告知端末など自宅で聞けるよ



杉本公文

議員

その他質問

- ◆普通財産売却事務取扱要項について
- ◆防災、減災対策について



川田好博 議員

地域総合戦略について

質問 現在住んでいる市民が今後も住み続けたいことを基本にすべきでは。

答弁 企画課長 その通りだと考えていますが、地域の特性を生かしたまちづくりが必要と考えています。

質問 現在の雇用を守る観点が必要ではないか。

答弁 企画課長 現在の雇用を守ることも必要ですが、新しい雇用の場を作ることにも必要です。

質問 林産物の需要喚起が必要ではないか。

答弁 経済課長 公共施設で地元の林産材の活用を図ってきました。

要望 民間でも活用したり、付加価値を高める事業も進めてほしい。

質問 農業振興は農業者の意欲が向上する取り組みが必要と思うが。

答弁 経済課長 地元の農業者、事業者と連携を図り進めていきたいと考えています。

保育所の空き定員

など丁寧な情報発信が必要では。

答弁 福祉保健部長 関係部署と協議して進めていきます。

質問 四方津駅バリアフリー化の国庫補助が難しくなったというのは。

答弁 都市計画課長 都市計画法の用途地域指定が必要になったからです。

質問 他の交付金メニューではどのように書かれていないと思うが。

答弁 都市計画課長 再度内容を確認して検討していきたいと思えます。

質問 市の就学援助率は。

答弁 学校教育課長 約八・二%です。

要望 全国は一五・四%、県は一〇・一%。高めるための工夫をしてほしい。

質問 障害者の雇用率は。

答弁 福祉保健部長 市内一般企業（五十人以上）では、一・三七%です。

一般企業の法定雇用率

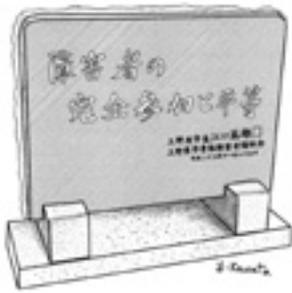
は二%だ。雇用促進に努めてほしい。

質問 市内の障害者事業所への支援を強める必要があると思うが。

答弁 福祉保健部長 事業所と協議しながら努力していきたいです。

質問 障害者のグループホームの充実が必要と思うが。

答弁 福祉保健部長 障害者福祉計画に基づき対策を講じているが、今後も自立支援協議会等を通じて内容を高めしていきたいです。



保育職員について

質問 現状の職員構成は。

答弁 福祉保健部長 現在計六ヶ所において保育業務を行っています。全保育所の職員数は正規職員が二十一名で、嘱託職員は三十六名です。正規職員の割合は三十七%と

なっています。保育所の二十六年度総事業費は約三億一千八百万円。うち人件費が八十三・六%を占めています。

質問 今後の正規職員の採用等について。

答弁 福祉保健部長 各保育所における保育ニーズの多様化にも対応するため、職員構成や職員採用及び処遇改善等に努めるとともに、不足する保育士確保、また他市町村への転職の歯止めをかけるため、関係部署と連携を図りながら対応していきます。

質問 現在の財政状況からは非常に難しいと思いますが、正規職員の

比率を上げるよう努力していきます。

質問 保育士の待遇改善が急務だと考えます。市では第三子の保育料無料化等、子育て世代には益々充実した支援となりつつあります。しかしこれも保育職員が充実してからこそです。今後の市立保育所の経営・運営については、昨年度の決算報告を見ても、色々な考え方を持つことも選択肢として必要だと考えています。特に子育て世代が不安を抱くようなこと、また勤務されている職員が安心して働けるように十分に考慮していかねればならない。これは非常に重要なポイントです。市は今後の運営・経営について考えがあれば伺いたい。

答弁 福祉保健部長 経営・運営方法につきましては市の子育て支援施設のあり方、また効率・効果的な保育所の適正規模、

比率を上げるよう努力していきます。



東山洋昭 議員

その他質問

- ◆28年度当初予算における地域LED防犯灯補助制度及び市管理の街路灯補助事業について
- ◆1月18日降雪時等の災害時・緊急収集、市民への情報伝達について
- ◆ジェネリック医薬品の市民への普及啓発について

適正配置や市を取り巻く

社会情勢等の変化等を踏まえ、市立保育所適正化審議会へ二度諮問し、二十年三月と二十三年三月に答申をいただきました。

これを受けて、市ではこれまで保育所運営及び統合準備を進めてきたところですが、今後の新上野原保育所を始め、市内の各保育所運営については、

これまでどおりの形態で、保育運営に努めていきたいと考えております。

報告を見ても、色々な考え方を持つことも選択肢として必要だと考えています。特に子育て世代が不安を抱くようなこと、また勤務されている職員が安心して働けるように十分に考慮していかねればならない。これは非常に重要なポイントです。市は今後の運営・経営について考えがあれば伺いたい。

経営・運営方法につきましては市の子育て支援施設のあり方、また効率・効果的な保育所の適正規模、





小俣 修
議員

その他質問

- ◆新田字狐原畑地への雨水流入対策について
- ◆桂川橋上流域への周遊道路整備構想について
- ◆人口減少問題について



久嶋成美
議員

その他質問

- ◆新上野原保育所について

神奈川企業庁との土地交換構想について

質問 土地交換について庁内で会議を開くとか、何か動きはありましたか。

答弁 企画課長 当該地区は、上野原市の緑の基本計画により公園緑地や公共施設、緑地とのネットワークの充実を図ると共に、緑化の重点区域に指定しています。また、旧中野区用地、上野原用地の仮置場については、緑の拠点とした位置づけにもなっています。現段階では、中野区から購入した仮置場については、今後重要な位置づけとらえて、有効な利活用も考えられることから、当該土地を含めた市全体の土地利用を検討する必要があります。

上野原駅南口周辺整備事業の中の市直轄事業について

質問 事業予定地内の土地取得はどのような状況になっているのか。

答弁 都市計画課長 昇降施設棟建設予定地、駅前広場及びアクセス道路に必要な用地は既に取得済みとなっています。

質問 昇降施設の工事期間と供用開始予定日は。

答弁 都市計画課長 工事期間は二十八年二月五日から二十九年七月三十一日までとなっています。供用開始時期は、駅前広場等全体の供用開始に先行し、工事完了後できるだけ早い時期に二階から一部供用開始ができればと考えています。

質問 地域活性化の一環として、エレベーターの建物内、もしくは周辺に地場産品等の売場を設ける構想は持っているか。

答弁 都市計画課長 昇降施設棟東側に地域活性化施設を建設する予定です。その中に、観光案内所や物産品の販売スペースなどを検討しています。今後関係部署と具体的な内容について協議、調整していきたいと考えています。

質問 昇降施設以外の事業概要と着工時期、完成後の供用開始予定は。

答弁 都市計画課長 市が施行する事業は、主に上野原駅南口の昇降施設棟及び連絡通路、駐輪場、多目的トイレ、地域活性化施設、土地区画整理区域内の区画道路整備等となっています。着工時期は、二十八年度から順次着工し、三十年三月の完成を目標としています。

質問 地域別では中心市街地ほど投票率が低く、年齢別では若年層ほど投票率が低い傾向にあり、若年層の低さについては全国的な傾向です。選挙権年齢が十八歳に引き下げられたことを考えますと、若年層の投票率の向上に向けた取り組みは特に重要だと考えています。

質問 国会では今、公職



選挙について

質問 過去に選挙事務について質問したが、今回は投票率向上につながる提案をしていきたい。過去四回の選挙における投票率を比較してみると、どの選挙も二十代から三十代の若い世代は関心が低く投票率も三十%台です。地区別や投票所別に見ても五十%台から八十%台と大きく差が出ています。投票率の伸び悩みの原因をどう考えるか。また解決策は何だと思ふか。

答弁 総務部長 地区別では中心市街地ほど投票率が低く、年齢別では若年層ほど投票率が低い傾向にあり、若年層の低さについては全国的な傾向です。選挙権年齢が十八歳に引き下げられたことを考えますと、若年層の投票率の向上に向けた取り組みは特に重要だと考えています。

質問 国会では今、公職

答弁 総務部長 期日前投票所の設置という提案は如何か。

答弁 総務部長 期日前投票所の設置という提案は如何か。

意見 オンラインを使うず携帯電話で試している自治体もあることを認識して、前向きに検討することを望みます。

意見 オンラインを使うず携帯電話で試している自治体もあることを認識して、前向きに検討することを望みます。

意見 オンラインを使うず携帯電話で試している自治体もあることを認識して、前向きに検討することを望みます。

選挙法の一部を改正する法律案が審議されています。内容は①共通投票所制度の創設②期日前投票所の投票時間の弾力的な設定③投票所に入ることのできる子供の範囲の拡大等です。これは有権者の投票環境を向上させようとする動きです。また、新聞報道では高市総務大臣の発言が載っており、大学構内に期日前投票所の設置を各自治体に働きかけるといった内容でした。私の過去の一般質問で、選挙事務について啓発運動の一環として学生アルバイトを起用したかどうかという提案をしたところ、その後の選挙で実行して頂き、ある程度の成果が出たという事ですが、当市には帝京科学大学があります。選挙事務のアルバイトだけでなく、大学構内に期日前投票所の設置という提案は如何か。

答弁 総務部長 期日前投票所の設置という提案は如何か。

意見 オンラインを使うず携帯電話で試している自治体もあることを認識して、前向きに検討することを望みます。



要望 検討中とのことだが、国の防災会議に女性の参画が決定して四年半、市の防災会議に女性が参画して二年が経過していますが、当市として市民の命を守るために、どのような対策をしていくかを考えるのが行政の仕事だと思いません。(三年前から女性を対象にした防災研修会を行っている他市の取り組みと成果を紹介

答弁 危機管理担当課長 まだ検討中ですが、今後自主防災会を中心とした地域の活動に対する指導助言をする中、女性の視点に立った防災体制の重要性を呼びかけていきたいと考えています。

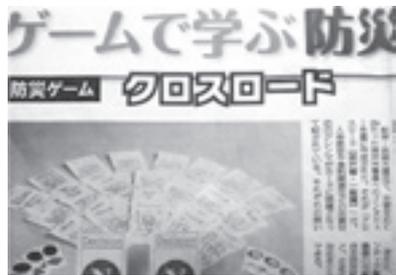
質問 昨年九月に同様の質問に対し、担当課長より「女性の役割も重要です。今後、防災における女性の参画について検討する」との答弁がありました。その後の検討は。

要望 今後、早期の実施を要望します。現在、防災リーダーは全国で十万人を超え女性防災リーダーも多く誕生し、地域で活躍をされています。また、第四次男女共同参画基本計画に「地域を担う女性防災リーダーの養成等、人材育成を行うと共に、女性リーダーが地域防災の現場で活躍する仕組みをつくる」とある。今後、女性防災リーダーの育成を考えていますか。

答弁 危機管理担当課長 県の甲斐の国・防災リーダー講習会等に参加を促す中で、リーダーの育成を図り地域の中で活動できるように内容を充実させていきたいと思えます。

要望 今後、女性を対象の防災教育等を行う際には防災公園を利用した防災訓練の実施を要望します。(ベンチが、かまどに変わる等の実演も含めて。)

質問 現在、防災リーダーは全国で十万人を超え女性防災リーダーも多く誕生し、地域で活躍をされています。また、第四次男女共同参画基本計画に「地域を担う女性防災リーダーの養成等、人材育成を行うと共に、女性リーダーが地域防災の現場で活躍する仕組みをつくる」とある。今後、女性防災リーダーの育成を考えていますか。



要望 今後、女性を対象の防災教育等を行う際には防災公園を利用した防災訓練の実施を要望します。(ベンチが、かまどに変わる等の実演も含めて。)

に、積極的に女性に対する防災講習会等の計画を指示していきたいと思えます。さらに、防災リーダーの養成講座については、県で秋に行なっていますが、市民の皆さんに周知して一人でも多くの方が出席していただけるように、市として、さまざまな面で援助していきたいと考えています。



遠藤美智子 議員

◆子どもの貧困対策について

平成27年度 議長交際費

平成27年度における、議長交際費の支出の状況は、右のとおりです。詳細等はホームページでご覧いただけます。

支出区分	件数	支出金額
会費	7	40,000円
香典等	2	28,000円
見舞金	0	0円
協賛	0	0円
その他	4	21,002円
合計	13	89,002円

※その他の支出は、委員会視察調査の際の手土産代等です。

平成28年 定例会会期日程(6月～12月)

6月定例会

月日	曜日	内容
6月 6日	月	本会議(議案上程等)
6月 8日	水	総務産業常任委員会
6月10日	金	文教厚生常任委員会
6月14日	火	一般質問
6月15日	水	一般質問
6月16日	木	一般質問(予備)
6月20日	月	本会議(議案審議等)

9月定例会

月日	曜日	内容
9月 5日	月	本会議(議案上程等)
9月 7日	水	総務産業常任委員会
9月 9日	金	文教厚生常任委員会
9月13日	火	一般質問
9月14日	水	一般質問
9月15日	木	一般質問(予備)
9月16日	金	決算特別委員会
9月20日	火	決算特別委員会
9月21日	水	決算特別委員会(総括)
9月27日	火	本会議(議案審議等)

12月定例会

月日	曜日	内容
11月24日	木	本会議(議案上程等)
11月28日	月	総務産業常任委員会
11月30日	水	文教厚生常任委員会
12月 2日	金	一般質問
12月 5日	月	一般質問
12月 6日	火	一般質問(予備)
12月 8日	木	本会議(議案審議等)

※日程について
正式には、各定例会の本会議の初日に決定します。

議会活動

1月

- 10日 上野原市消防団出初式
上野原市成人式
- 13日 議会だより編集常任委員会
- 20日 議会だより編集常任委員会
上野原市観光協会新年互礼会
- 21日 文教厚生常任委員会視察調査(市内)
- 25日 上野原市障害者福祉会新年互礼会
会員交流及び賀詞交歓会(上野原市商工会)
- 26日 議会だより編集常任委員会
- 27日 上野原市区長会新年互礼会
租税知識と青色申告推進書道コンクール審査会
- 29日 議会運営委員会
議員全員協議会

2月

- 4日 平成27年度山梨県市議会議長会議員合同研修会(後期)(アピオ甲府)
第31回山梨県市町村自治講演会(自治会館)
- 5日 第1回臨時会
- 8日 総務産業常任委員会視察研修(浜松市)
- 17日 全国市議会議長会 第111回代議員会(東京)
- 23日 「富士山の日」フェスタ2016(富士吉田市)
- 25日 議会運営委員会
議員全員協議会
- 27日 第11回上野原市社会福祉大会

3月

- 1日 上野原高等学校卒業証書授与式
- 2日 日大明誠高等学校卒業証書授与式
- 3日 第1回定例会(開会)
- 7日 総務産業常任委員会
- 9日 文教厚生常任委員会
- 10日 上野原市立中学校卒業式
- 11日 市政一般に関する質問
- 14日 市政一般に関する質問
- 16日 予算特別委員会
議会だより編集常任委員会
- 17日 予算特別委員会
- 18日 予算特別委員会(総括)
大村智先生ノーベル生理学・医学賞受賞記念祝賀会(アピオ甲府)
- 24日 第1回定例会(閉会)
- 26日 桐原地区戦没者慰霊祭

市民の声



上野原ライオンズクラブ

会長 山口 清さん

『誰かのために!』

『桂川フェスティバルへの想い』

私ども上野原ライオンズクラブは、「我々は奉仕する」をモットーに半世紀以上に亘り様々な奉仕活動に取り組んで参りました。近年では個別の奉仕活

動から地域活性化のための社会奉仕活動にも積極的に取り組んでおります。地域の活性化はいまや行政だけでは不可能な時代に入って参りました。そのため、個人だけではな

く、団体・企業等を含めた市民全体が自分の事として考え、各自が各自の出来る事を実行していくための体制づくりが急がれます。その様な観点から、今年の「桂川フェスティバル」はライオンズクラブの単独事業から、各地域、各団体の皆様や大学、ボランティアアグループなど、様々な市民の皆様のご協力を頂きながら、五月十五日(日)に開催する運びとなりました。市民の祭典です。この祭りを通



して地域の人々の交流を広め、将来、上野原地域の活性化のためのシンボル、元気なまちのショーラムとなる様な一大イベントに育てていけたらと念願しております。貴方が主役となって作る地域です。そんな主役の方に一人でも多くご参加頂きますよう、願っています。

編集後記

三月の定例会は、十八歳選挙権をはじめ人口減少、地域創生、保育士問題等多くの質問が出され、活気あふれるものとなりました。また二十八年度当初予算についても、市民生活に直接影響するものであり、特別委員会を設置し三日間にわたる慎重審議を行いました。その内容についても、この紙面の中で概略を説明しています。今後とも市民の皆様身近でよりわかりやすい紙面づくりを目指し努力してまいります。

議会だより編集常任委員会

委員長	久嶋 成美
副委員長	遠藤美智子
委員	長田喜巳夫
委員	川島 秀夫
委員	東山 洋昭
委員	川田 好博



発行 / 上野原市議会 山梨県上野原市上野原 3832 番地

編集 / 上野原市議会だより編集常任委員会

TEL : 0554-62-3344(直通) FAX : 0554-62-5344

URL : <http://www.city.uenohara.yamanashi.jp>

E-mail : gikai@city.uenohara.lg.jp

印刷 / カヤマ印刷

上野原市上野原 3768

TEL 0554-63-0188